

城山防災まちづくり活動ニュース

平成29年1月発行 いわき市危機管理課

「城山自治会防災訓練」を実施しました！

(第9回防災まちづくりワークショップを兼ねて開催しました)

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力の向上に向けて、昨年度から全10回、今年度は2年目として5回行います。

平成28年11月5日(土)午前、住民同士の自主的な防災活動の一環として「城山自治会防災訓練」を実施し、約140名(「避難者」約110名、「運営者」約30名)が参加しました。

◎テーマ：

「大規模地震が発生！土砂災害の危険は？」
～避難の体験を通じて、いざという時に備えよう～

◎主な訓練内容：(詳細はウラ面)

- ・緊急連絡網を活用した情報伝達訓練
- ・城山公民館への避難実動訓練、ふりかえり
- ・炊き出し訓練、物資配給訓練

◎参加者・協力者等：

平24区にお住まいの皆さん、城山自治会、
いわき市消防団、平消防署、いわき市危機管理課、
コンサルタント



★ 地区住民で何度も話し合い、準備・当日運営を行いました ★

従来型の防災訓練は、市役所や消防署等の防災関係機関が企画・準備し、住民は訓練当日に見学・体験する形での参加が多いものでした。

今回の「城山自治会防災訓練」は、これまでの「防災まちづくりワークショップ」で話し合ってきた「まちの課題」、「これまでの取り組み」に基づき、いざというときに住民同士で行動できることを目指し、地区で企画・準備してきました。また、訓練当日は、会場準備や避難誘導等を役割分担し、地区が主体で運営しました。



【上】訓練2週間前の防災まちづくり活動で役割分担確認
【中】炊き出し訓練用の資機材・食材等の調達
【下】受付台設置と当日受付・誘導

★ 「城山自治会防災訓練」(11月5日)の実施状況 ★

① 訓練開始：地震発生のお知らせ



★防災・緊急速報メール、防災無線等により地震発生の第一報。連絡網の活用と声掛けによる安否確認、避難勧告の情報伝達を実施。

② 避難誘導：地区各所で土砂崩れ被害



★地区の各所で地震による「がけ崩れ」看板を設置し、避難の際の交通迂回誘導や注意喚起を行いました。

③ 避難実動訓練で、城山公民館へ！

★近隣住民が声を掛け合いながら、避難所へ集合して、班・組ごとに安否確認を実施。土砂災害の危険度が高いため、安全な避難ルートや危険箇所等の聞き取りと、全員で情報共有を通してふりかえり、地域全体の防災意識を高めました。



★櫻田区長より防災まちづくり活動紹介と、消防職員による防災講話。皆、熱心に耳を傾けました。



④ 炊き出し訓練・物資配給訓練

★災害時の食事を考えながら、炊き出しのあたたかい豚汁とおにぎりを準備し、皆で分け合いながら住民交流のひとつ。地域の助け合いの大切さを実感。



★避難生活に役立つ紙食器作りと、非常用持ち出し袋の備えについて考えました。



防災まちづくりワークショップの予定

次回【1月19日】は、地区防災計画をとりまとめます。

【お問い合わせは下の連絡先まで】※どなたでもご参加いただけます。

日時など	取り組み
1月19日(木) 午後7時~9時	○地区防災計画案の作成 ○今後の活動計画の検討
今年度内	今年度内に市防災会議へ計画案を提出し、地区防災計画を確定・公表

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市総合政策部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))